

intra-mart WebPlatform/AppFramework  
Ver.7.2

# ポータル システム管理者 操作ガイド

❖ 変更履歴

---

変更年月日	変更内容
-------	------

---

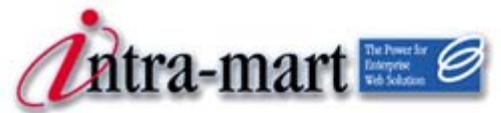
2010/04/01 初版	
---------------	--

---

# Contents

第1章 ポートレット管理	1
1.1 ポートレット管理とは	2
1.2 ポートレットアプリケーション一覧	3
1.2.1 概要	3
1.3 ポートレットアプリケーションの登録	4
1.3.1 概要	4
1.4 ポートレットアプリケーションの更新	6
1.4.1 概要	6
1.5 ポートレットアプリケーションの削除	7
1.5.1 概要	7
1.6 標準ポートレット初期化	8
1.6.1 概要	8
第2章 ポータル設定	9
2.1 ポータル設定について	10
2.2 ポータルの設定	11
2.2.1 概要	11
2.2.2 ポータル設定画面で設定可能な項目	12





**intra-mart WebPlatform/AppFramework**

## 第1章 ポートレット管理

# 1.1

## ポートレット管理とは

intra-martはJSR168（ポートレットに関する標準仕様のバージョン1.0）およびJSR286（同バージョン2.0）に対応しています。

intra-martのポータルでJSR168/286に準拠したポートレットを利用するためには、システム管理者がポートレットのWARファイルを事前にintra-martに登録し、アプリケーションサーバにデプロイする必要があります。

その後、ログイングループ管理者がintra-martに登録されているポートレットアプリケーションの中からポータル画面で利用したいポートレットを選んで登録することによって、ポータル画面でポートレットを利用することができるようになります。

ポートレット管理では、システム管理者がポートレットアプリケーションをintra-martに登録するなど、ポートレットアプリケーションに関する一覧表示、登録、更新、削除を行う為の機能を提供します。



### Column

### JSR168/286(ポートレットに関する標準仕様)

いろいろな企業からポータルサーバがリリースされていますが、各社でその仕様は統一されていませんでした。その状況を改善するために定義されたのが、標準化団体Java Community Process(JCP)において策定された、Java標準規格「Java Specification Request (JSR) #168」です。

またJSR286は、JSR168の機能を拡張する形で策定されました。

JSR168では、ポートレットとしての基本機能を定義し、JSR286ではイベントなどの機能を追加する形で定義されるため、JSR286に準拠したポートレットコンテナではJSR168ポートレットを動作させることが可能です。

これらのポートレットはWebアプリケーションの一種として作成され、WARファイルの形で提供されます。

この標準に準拠していれば、ポータルサーバに依存することなく、提供されたポートレットを配備・実行することができます。

intra-martでは、以前のバージョンで利用していた従来のポートレットと区別する為に、JSR168に対応したポートレットをポートレットアプリケーションと呼びます。



- JSR168/286の詳細に関しては、「JCP」のページをご覧ください。

**JSR168** <http://jcp.org/en/jsr/detail?id=168>

**JSR286** <http://jcp.org/en/jsr/detail?id=286>

# 1.2

## ポートレットアプリケーション一覧



### 1.2.1 概要

システム管理者でログインして、メニューから「ポートレット管理」を選択すると、intra-martに登録されているポートレットアプリケーションが一覧画面に表示されます。

この画面から、新規登録、編集、削除などの操作が行えます。

但し、intra-martのコンテキスト（図ではimart）のポートレットはintra-martが提供するポートレットであるため、編集、削除のアイコンが表示されず、編集、削除作業が出来ません。

ポートレットアプリケーション一覧			
			1-5/5 表示中
編集	削除	コンテキスト	ポートレット名
		imart	GoogleGadgetPortlet, InternetPortlet, JavaeeFwPortlet, JspPortlet, LinkSetPortlet, MenuLinkSetPortlet, PresentationPagePortlet, RssPortlet, SystemNoticePortlet
		mashupportlet	MashupPortlet
		notepadportlet	NotepadPortlet
		videoportlet	SingleVideoPortlet, Youtube Portlet
		weatherportlet	WeatherPortlet
			1-5/5 表示中

<ポートレットアプリケーション一覧画面>

# 1.3

## ポートレットアプリケーションの登録



### 1.3.1 概要

ポートレットアプリケーションを新規登録するには、ポートレットアプリケーション一覧画面の上部にある[新規登録]アイコンをクリックします。

ポートレットアプリケーション新規登録画面では、[参照]ボタンを押下して、新規にintra-martに登録するポートレットアプリケーションのWARファイルを選択して、[登録]ボタンをクリックします。

登録されたポートレットアプリケーションは、ストレージにアップロードされてポートレットレジストリにその情報が登録され、一覧画面に表示されます。

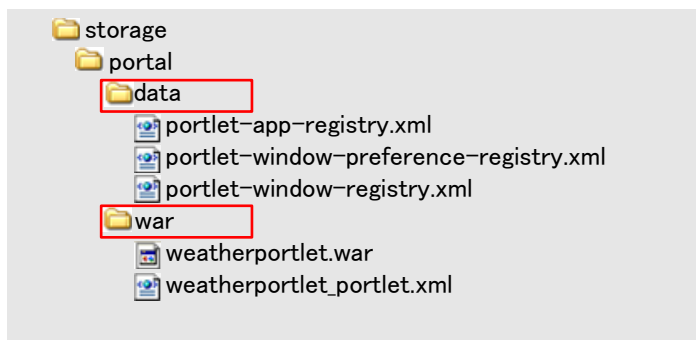
登録したポートレットアプリケーションを実際に利用する為には、アップロードされたWARファイルをアプリケーションサーバにデプロイする必要があります。

#### 1 ポートレットアプリケーションをintra-martに登録する。

<ポートレットアプリケーション新規登録画面>

WARファイルを選択して登録することで、ポートレットアプリケーションがintra-martに登録され、ストレージサービスの以下のディレクトリにWARファイルがアップロードされます。

#### ■ WARファイルアップロード先





**data**

このディレクトリにはintra-martで利用するポートレット情報が格納されます。

**war**

このディレクトリにはアップロードされたWARファイルが格納されます。

このWARファイルをアプリケーションサーバにデプロイしてください。

また、ポートレットの情報が記述された、<WARファイル名>\_portlet.xmlが作成されます。

これらのファイルはintra-martの管理情報となりますので、修正および削除しないように注意してください。

## 2 WARファイルをアプリケーションサーバにデプロイする。

手順1はintra-martにポートレットを登録しただけですので、実際にポートレットを利用するためにはWARファイルをアプリケーションサーバにデプロイする必要があります。

### ■ WebPlatform(Resin)の場合のデプロイ方法

手順1でアップロードされたWARファイルを以下のディレクトリにコピーすることで、自動的にデプロイされます。

(WebPlatformのインストールパス)/webapps

### ■ それ以外のアプリケーションサーバのデプロイ方法

それぞれのアプリケーションサーバのマニュアルを参照してください。



- ストレージサービスにアップロードされたWARファイルは元のファイルと異なりますので、注意してください。

# 1.4

# ポートレットアプリケーションの更新



## 1.4.1 概要

ポートレットアプリケーションを更新するには、ポートレットアプリケーション一覧画面で更新するポートレットアプリケーションを選択して[編集]アイコンをクリックします。

ポートレットアプリケーション編集画面では、[参照]ボタンを押下して、更新するポートレットアプリケーションのWARファイルを選択して、[更新]ボタンをクリックします。

更新されたポートレットアプリケーションは、ストレージにアップロードされてポートレットレジストリの情報が更新され、一覧画面に表示されます。

更新したポートレットアプリケーションを利用する為には、アップロードされたWARファイルをアプリケーションサーバに再デプロイする必要があります。

ポートレットアプリケーション編集

一覧へ戻る

ポートレットWARファイル選択

コンテキスト名 weatherportlet

ファイル名  参照...

更新

<ポートレットアプリケーション編集画面>

# 1.5

## ポートレットアプリケーションの削除



### 1.5.1 概要

ポートレットアプリケーションを削除するには、ポートレットアプリケーション一覧画面で削除するポートレットアプリケーションを選択して[削除]アイコンをクリックします。

ポートレットアプリケーションを削除すると、ポートレットとして登録していた場合はポートレット一覧から削除され、そのポートレットをポータルに配置していた場合はポータルからも削除されるなど、そのポートレットアプリケーションに関連した情報がすべて削除されます。

さらに、ストレージから該当するポートレットアプリケーションのWARファイルが削除されてポートレットレジストリからもその情報が削除されますので、グループ管理者のポートレット新規登録時のポートレット検索結果一覧画面からも表示されなくなります。

ポートレットアプリケーションを削除した後は、ポートレットアプリケーションをアプリケーションサーバからアンデプロイする必要があります。



The screenshot shows a web interface for managing portlet applications. At the top, there are navigation links: '新規登録' (New Registration), '標準ポートレット初期化' (Standard Portlet Initialization), and '最新情報' (Latest Information). Below this, there are sorting options: '昇順' (Ascending) and '降順' (Descending), and a page indicator '1-5/5 表示中' (Showing 1-5/5). The main content is a table with columns for '編集' (Edit), '削除' (Delete), 'コンテキスト' (Context), 'ポートレット名' (Portlet Name), and '登録日' (Registration Date). The table lists five portlets: 'imart', 'mashupportlet', 'notepadportlet', 'videoportlet', and 'weatherportlet', each with its associated context and registration date (2009/04/20 or 2009/04/21). At the bottom, there are more sorting options and another page indicator '1-5/5 表示中'.

編集	削除	コンテキスト	ポートレット名	登録日
		imart	GoogleGadgetPortlet, InternetPortlet, JavaeeFwPortlet, JspPortlet, LinkSetPortlet, MenuLinkSetPortlet, PresentationPagePortlet, RssPortlet, SystemNoticePortlet	2009/04/20
		mashupportlet	MashupPortlet	2009/04/21
		notepadportlet	NotepadPortlet	2009/04/21
		videoportlet	SingleVideoPortlet, Youtube Portlet	2009/04/21
		weatherportlet	WeatherPortlet	2009/04/21

<ポートレットアプリケーション一覧画面>

# 1.6

## 標準ポートレット初期化



### 1.6.1 概要

intra-martで標準で提供されるポートレットアプリケーション情報の初期化を行います。

intra-mart用ポートレット情報の初期化は、初期データインポート時に行われますが、バックアップの復元などで、初期データインポートを実行せずにセットアップを行った場合はintra-mart用ポートレットが利用できない状態となります。

また、新しいintra-mart用ポートレットの追加や情報の変更を行った場合も、初期化を行わない限り反映されません。

そのような場合は、標準ポートレットの初期化を実行してください。

標準ポートレットの初期化を行うには、ポートレットアプリケーション一覧画面の上部にある [標準ポートレット初期化] アイコンをクリックします。

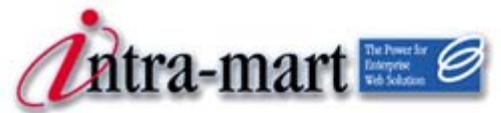
初期化に成功した場合、intra-martのコンテキスト (図ではimart) が本日の登録日で追加あるいは更新されます。

編集	削除	コンテキスト	ポートレット名	登録日
		imart	GoogleGadgetPortlet, InternetPortlet, JavaeeFwPortlet, JspPortlet, LinkSetPortlet, MenuLinkSetPortlet, PresentationPagePortlet, RssPortlet, SystemNoticePortlet	2009/04/20
		mashupportlet	MashupPortlet	2009/04/21
		notepadportlet	NotepadPortlet	2009/04/21
		videoportlet	SingleVideoPortlet, Youtube Portlet	2009/04/21
		weatherportlet	WeatherPortlet	2009/04/21

<ポートレットアプリケーション一覧画面>



- 標準ポートレットの初期化を実行しない場合でも、ポートレットアプリケーションはある程度の動作が可能です。そのため、初期化が行われていないことに気づかない場合もありますが、intra-martのセットアップ後に初期データインポートを行わなかった場合は、必ず標準ポートレットの初期化を実行してください。



**intra-mart WebPlatform/AppFramework**

## 第2章 ポータル設定

# 2.1

## ポータル設定について

ポータル機能のシステム設定情報は、Apprication Runtime上のプロパティファイルとして管理されています。

それらの設定は、システムでユニークな設定となり運用中に頻繁に変更する必要がある情報ではありません。しかし、設定項目によってはシステム管理者により初期設定や変更が必要な場合が発生するため、設定が必要ないいくつかの項目について、画面上での設定が可能となっています。

本章では、ポータル設定画面で変更可能な情報について記述します。

それ以外の設定情報については、「ポータル設定ガイド」を参照してください。

## 2.2

# ポータルの設定



### 2.2.1 概要

システム管理者でログインして、メニューから「ポータル設定」を選択すると、ポータル設定画面が表示され、設定可能な項目と、現在の設定情報が表示されます。

<ポータル設定画面>

ここで設定した情報は、Permanent Serviceを利用して保存されるため、システムを再起動した場合も有効となります。

ただし、intra-martを再インストールした場合やバージョンアップを行った場合、移行することはできませんので、再度設定を行ってください。



#### 2.2.1.1 設定情報の反映

「設定」ボタンを押下することにより、入力した値が保存されます。設定後は、Application Runtimeの再起動は不要で、設定は即座にシステムに反映されます。



#### 2.2.1.2 設定情報の削除

「初期化」ボタンを押下することにより、入力した情報を全て削除し、プロパティファイルに設定された値に初期化されます。



## 2.2.2 ポータル設定画面で設定可能な項目

ポータル設定画面では、以下の項目の設定が変更可能です。

設定内容については「ポータル設定ガイド」により詳しい内容が記述されているため、合わせて参照してください。

### ユーザポータル作成編集可否

対応するプロパティ: **portal.user.editable**

一般ユーザによるポータル画面の編集可否を設定します。「編集不可」に設定した場合、一般ユーザはタブの追加が行えなくなります。

### ユーザポータル公開可否

対応するプロパティ: **portal.user.open.enable**

一般ユーザによるポータル画面の公開可否を設定します。「公開不可」に設定した場合、一般ユーザはポータルの公開が行えなくなります。

### ユーザポータルタブ順序変更可否

対応するプロパティ: **portal.user.tab\_order.editable**

一般ユーザが自分の作成したタブ以外のタブを移動することを許可するかどうかを設定します。「移動不可」に設定した場合、一般ユーザはグループポータルのタブを移動したり、自分の作成したポータルをグループポータルのタブを越えて移動したりすることができなくなります。

### アクティブポータルのセッション管理

対応するプロパティ: **portal.active.portal.stored.session**

アクティブなタブ情報をセッションに保存するかどうかを設定します。「行う」に設定した場合、現在表示しているタブ情報がセッションに保存されるため、別の画面を表示した後、再度ホーム画面を表示すると、前回表示していたタブがアクティブになります。

### ポートレット最大高さ

対応するプロパティ: **portlet.maxHeight**

ポートレット表示高さの最大値を指定します。ポートレットのコンテンツのサイズがこの値を超える場合、スクロールバーが表示されます。

### ポートレット最小高さ

対応するプロパティ: **portlet.minHeight**

ポートレット表示高さの最小値を指定します。ポートレットのコンテンツのサイズがこの値より小さい場合、自動的にこのサイズとなります。

### インターネットポートレット高さ

対応するプロパティ: **portlet.internet.height**

インターネットポートレットの表示高さです。全てのインターネットポートレットで同一の高さとなります。

### リンク集ポートレットICON表示

対応するプロパティ: **displayFavicon**

リンク集のリンクの先頭に、リンク先のサイトから「Favicon.ico」を取得して表示するかどうかを指定します。

レスポンスが遅くなる場合もありますので、その場合は「表示しない」を設定してください。



### デフォルトアクションハンドラ

対応するプロパティ:**portlet.default.action.handler**

ポートレット新規登録/編集画面でActionハンドラにチェックした際に表示されるデフォルトのハンドラクラスです。

### デフォルトイベントハンドラ

対応するプロパティ:**portlet.default.event.handler**

ポートレット新規登録/編集画面でEventハンドラにチェックした際に表示されるデフォルトのハンドラクラスです。



## intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.2

---

2010/04/01 初版

**ポータル システム管理者操作ガイド**

**株式会社 NTT データ イントラマート**

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 3階

TEL(03)5549-2821 FAX(03)5549-2816

E-mail : [info@intra-mart.jp](mailto:info@intra-mart.jp)

ホームページ : <http://www.intra-mart.jp>

Copyright 2000-2010 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

---

※本マニュアルに記載されている社名および商品名は、一般に各社の商標および登録商標です。